

2014年9月26日発信

イアオラナ！現地旅行社タヒチヌイトラベルが発信する、タヒチのプチ情報です。

皆様 イアオラナ！（タヒチ語でこんにちは！）

今週は、タヒチの歴史に少～し触れたいと思います。

今から100年前、第一次世界大戦によって通商破壊作戦中のドイツ帝国海軍のマクシミリアン・フォン・シュペー司令率いるドイツ東洋艦隊の襲撃によりパペーテが艦砲射撃されました。

↓マルシェの前の写真



カテドラル教会の前の写真

ドイツ軍の主な目的は、島に蓄えられていた石炭の山を手に入れることでありましたが、結局フランス側がすべて燃やしたため接收できませんでした。

1914年9月22日7時、2隻の国籍不明だった巡洋艦がパペーテの港に接近してくるのをフランス側が認めてしまいました。それが、ドイツ船だと気がついたのは、港に入る遥か外側です。

警報を鳴らしたのですが、港近くまで接近されてしまいました。

そして、フランスは正体を明らかにせよという合図として砲台から3度警告射撃が行われたのですが、巡洋艦は発砲しその際ドイツの旗を掲揚して、降伏するよう信号を送ったそうです。

が、フランス側がそれを拒否したため、ドイツの巡洋艦は距離6,000mで砲台や町に対して砲撃を開始してしまいました。フランスの砲台や砲艦も反撃したが、命中弾はできませんでした。

結果ドイツ軍が撤収するまでに、町の大部分は破壊され、火災が消火されるまでにパペーテの2区画が燃え尽きてしまいました。

店や市場、そしてそのほかの幾つかの建物や住居が砲撃や火災で破壊されてしまいました。戦闘が始まるとすぐに住民の大半は島の内陸部へと逃げたが、日本人一人とポリネシア人の少年一人が砲撃で死亡したそうです・・・

丁度、タヒチヌイトラベルのオフィスからマルシェあたりまで発砲されたことになります。

幸い、攻撃は同日 11 時頃にドイツ軍が撤収しましたが、罪の無い人が犠牲になったことは忘れてはなりません。

今月 9 月 22 日 8 時 30 分にフランスの陸軍や海軍が追悼式を行いました。

そんな悲劇から今年で丁度 100 年、9 月 22 日から 10 月 24 日までこの悲劇を忘れないようにパペーテ市内にてイベントがあります。

23 日からはパペーテ市役所にて朝 8 時から夕方 5 時まで



現在、マルシェの前に艦船の模型など飾られています。

右の船名：La Zélée ラゼール<フランス船>

左の船名：Scharnhorst シャルンホルスト <ドイツ船>

一番右の写真は、タヒチの音楽グループで有名な古い歌手 Patrick NOBLE (パトリックノーブル)

たくさんCDも出ているそうですよ！



パペーテ市内にお越しの際は、ぜひ市役所まで足を伸ばしてみてください！